

いなべ市シルバースローガン

慣れた手も 緩んだ気持ちが 事故招く

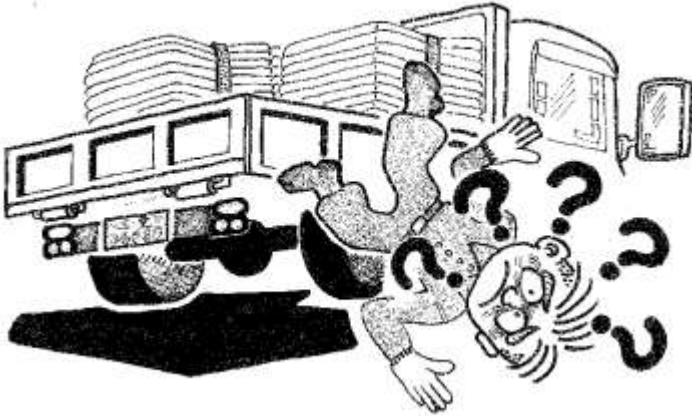
\* 事故の発生状況 H23 年 5 月末現在 \*

## ◆ 5 月は傷害事故 1 件発生

**傷害事故** 5 月 16 日（月）男性就業者。いなべ農協大泉支店倉庫内において、シルバー会員 3 名で、折り畳んで束にしてあるフレコン袋（穀類用）を 2 t トラックに積載中に発生した。2 名がフレコン袋の束をトラックの荷台まで持ち上げ 1 名が荷台で

シルバー事業	5 月発生分	年度累計
傷害事故	1	2
賠償事故	0	4
計	1	6

受け取って整列させる連携作業を行っていた。この作業の終了直前、荷台の一人が反対側に落下。下に居た 2 名が異常な音に気付き、車両の反対側に回って見ると当人が地面に倒れていたとのこと。3 名ともヘルメットは着用していなかった。本人に落下した時の記憶が無く、病院で精密検査を受診（1 日の検査入院）。結果は脳に異常なし。左後頭部打撲・左肩打撲・左足打撲の診断。  
まさしく九死に一生を得た事故である。



## ◆平成 23 年度 第 1 回安全適正委員会だより

平成 23 年度第 1 回安全適正委員会が、去る 5 月 30 日（月）開催されました。

今年度早々に発生した傷害事故 2 件および損害事故 4 件を分析し、原因究明とともに安全対策について論議し、今後とも会員の就業に対し、可能な限りフォローしてゆくことを確認しました。安全の確保は、基本的には就業会員一人ひとりの心構えに左右されます。

《主な確認事項》

- ・暑い季節を迎えます。屋外作業には、梅干し、塩飴、スポーツ飲料など、持参する。
- ・枝木の伐採等で高所作業を必要とするケースでは、スカイマスターの活用を念頭に置く。また、スカイマスターは、車両後部を作業対象に向けて操作する。
- ・携帯電話は、事故（不測の事態）が発生した場合、外部とのやりとりで大変役立ちます。『緊急連絡先』を登録し必携する。

**『119』番は、局番無しで、このまま登録可能です。**

- ・事故が発生した場合、発注者側に連絡し救急措置を取るとともに、一報は本人もしくは共同就業者が速やかに支部長（支部担当を含む）またはセンター事務局へ報告し、判断を仰ぐこと。「事故報告書」は後日、原則として本人が必要事項・詳細説明を記述し、センター事務局へ提出する。事故の軽重に関わらず、隠蔽しないこと。
- ・自損事故にかかる免責の負担軽減を図るため、積立金制度を検討する。（懸案事項）

## ◆草刈り作業安全パトロールの実施

- ・草刈り作業の安全パトロールは、今期も 6～7 月に、随時実施します。
- ・パトロール員（安全委員）の選出は支部長（地区担当を含む）をまじえ、三役会議で行います。